

2016年11月21日

報道機関各社様

〈さんかくねっとプロジェクトチーム〉
慶應義塾大学 小川研究室
株式会社 らむれす
AVCテクノロジー 株式会社
株式会社 コーポレーション・ミヤ

ITを活用した「さんかくねっとプロジェクト」

ラジオを聞きながら、街の情報をキャッチ！

“新しいまち歩き”のカタチが誕生します

琴似の地で「三角山放送局」を中心に実証実験を開始

1. (目標) コミュニティ FM 局とタイアップした地域密着型サービスを提案して地域を活性化
～スマホとラジオを MIX した新しいコンセプト「SNR」を提唱します～

SNR : Social Networking Radio

- ① おすすめのお店など地域性の高い情報を音声で紹介し、街歩きをより快適にします
- ② 5年以内に全国のコミュニティ FM 局（現在 303 局）に展開し、全都道府県への導入を図り、新たなコミュニティ FM ネットワークを構築することを目標とします

2. (概要) 慶應義塾大学小川研究室で開発された、街の情報をその街にいる人に音声で提供するスマホアプリ「SNR」を活用し、ラジオと組み合わせたサービスを提案することで、衰退する地域およびローカルメディア局の活性化ができないかとの発想に至った。

そこで、慶應義塾大学と、琴似の地場企業である株式会社 コーポレーション・ミヤ（代表取締役社長：宮坂 元博、本社：北海道札幌市）、同じく琴似に研究所を構える AV 機器のソフトウェア/ハードウェア技術専門会社である AVCテクノロジー株式会社（代表取締役：麻野 倫裕、本社：大阪府門真市）、西区および琴似を中心にコミュニティ放送「三角山放送局」を運営する株式会社 らむれす（代表取締役：杉澤 洋輝、本社：北海道札幌市）がタッグを組み、これらの可能性の実証実験を琴似の地で行うこととなった。

サービスアイデアやコンテンツ制作を慶應義塾大学が、端末機器の開発と試作を AVCテクノロジー株式会社が、三角山放送局との連携を株式会社らむれすが担当し、全体のアレンジメントを株式会社 コーポレーション・ミヤが担当する「さんかくねっとプロジェクト」は、実証実験を重ね、日本各地のローカルメディア局に展開し、地方活性化に寄与していく。

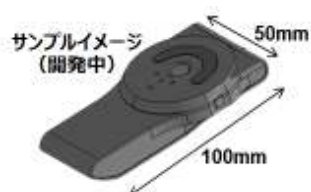
3. (支援機関) 協力者

・公立大学法人 札幌市立大学 デザイン学部 情報プロダクト研究室

(端末機器デザイン協力、実証実験への参加)

4. (SNRのコンセプトと、実証実験のイメージ)

スマホと連動した専用ラジオ



利用例



実証実験フィールドとイメージ



5. (語句説明)

- ・SNR(Social Networking Radio) : 慶應義塾大学小川研究室で開発された、街の情報をその街にいる人に音声で提供するスマホアプリ。
- ・さんかくねっとプロジェクト : 今回のプロジェクトの愛称。
プロジェクトに参加する三角山放送局にちなんで命名。
- ・慶應義塾大学小川研究室 : 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにある小川 克彦 環境情報学部教授の研究室。新たな場所メディアをつくることを狙いとして、様々な研究やシステム開発を行っている。
(URL : <http://www.balab.jp/>)
- ・三角山放送局 : 株式会社 らむれすが運営する札幌市西区にあるコミュニティ FM。

6. (実証実験)

日時 : 2016年11月28日(月) 10:30から実証実験説明会

場所 : 札幌市西区琴似3条1丁目1番20号 琴似3・1ビル2F

AVCテクノロジー(株)札幌技術研究所内フリースペース

※実証実験は11:30頃より4回に分けて行います(各々5名×30分程を予定)

<連絡先>

・慶應義塾大学 小川克彦研究室 : 環境情報学部教授 小川 克彦

TEL 0466-49-3441 FAX 0466-47-5151 E-mail: ogw@sfc.keio.ac.jp

・株式会社 らむれす : 代表取締役 杉澤 洋輝

TEL 011-621-8610 FAX 011-621-94582 E-mail: hirokun@sankakuyama.co.jp

・AVCテクノロジー株式会社 札幌技術研究所 担当 : 幡野 貴久

TEL 050-3535-1135 FAX 011-644-2222 E-mail: hatano.takahisa@kk.jp.panasonic.com

・株式会社 コーポレーション・ミヤ : 代表取締役社長 宮坂 元博

TEL 011-621-3777 FAX 011-676-3521 E-mail: motohiro@miya-promotion.co.jp